

第95回 埼玉県内企業経営動向調査－2016年4～6月期－

調査対象：県内企業 567社 調査方法：アンケート方式（5月上旬 郵送回収）
 回答企業：272社（回答率 48.0%） 業種別内訳：製造業 158社 非製造業 114社
 調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2016年2月12日	112.35	14,952.61
(今回)2016年5月13日	108.80	16,412.21

概況

埼玉県内企業の業況感は弱含みとなっている。今回（2016年4～6月期）の業況判断BSIは、-12と、前回（1～3月期）比4ポイント低下、2015年1～3月期以来5四半期ぶりの低下となった。

規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員100人未満）は引き続きマイナスとなっている。また、「規模の大きい企業」（従業員100人以上）も、製造業が引き続きマイナスで推移するに加え、非製造業もマイナスに転じている。

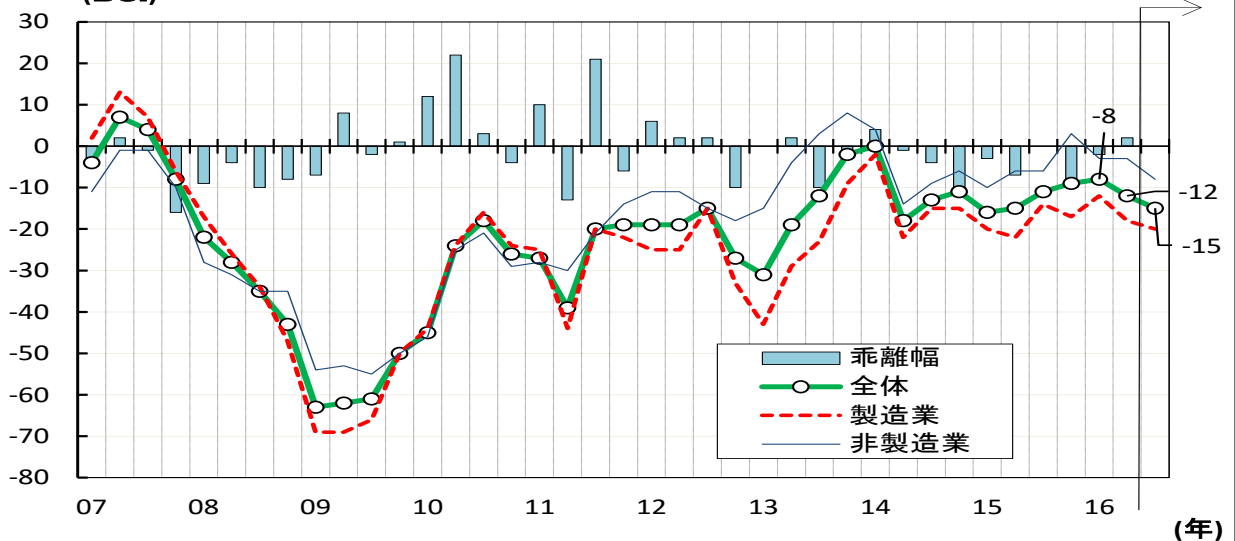
業種別にみると、製造業は後退している。生活関連型業種では、飲・食料品がコンビニなど向けの売上堅調から持ち直しているものの、素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品が需要の停滞から低調に推移し、加工組立型業種では、円高の影響に加え、電気機械器具や電子部品・デバイスがスマートフォン関連の生産低下、輸送用機械が内外需要の停滞などから後退している。一方、非製造業は横ばいとなっている。卸売が住宅資材卸、建材卸などで持ち直しているものの、小売が自動車関連、医薬品販売などで後退している。

先行き（2016年7～9月期）の予測業況判断BSIは-15とマイナス幅がやや拡大する。業種別にみると、製造業では、生活関連型業種の飲・食料品や印刷・同関連業が売上高の減少から、後退する見通しである。非製造業では、個人消費の停滞から小売関連が後退する見通しとなる。

図表1. 業況BSIの推移

(BSI)

(注) 乖離幅＝今回調査の実績BSI-前回調査時点の予測BSI



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~弱含み~

埼玉県内企業の業況感は弱含みとなっている。今回(2016年 4~6 月期)の業況判断 BSI は、-12 と、前回(1~3 月期)比 4 割低下、2015年 1~3 月期以来 5 四半期ぶりの低下となった。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)は引き続きマイナスとなっている。また、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)も、製造業が引き続きマイナスで推移するに加え、非製造業もマイナスに転じている。

業種別にみると、製造業は後退している。生活関連型業種では、飲・食料品がコンビニなど向けの売上堅調から持ち直しているものの、素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品が需要の停滞から低調に推移し、加工組立型業種では、円高の影響に加え、電気機械器具や電子部品・デバイスがスマートフォン関連の生産低下、輸送用機械が内外需要の停滞などから後退している。一方、非製造業は横ばいとなっている。卸売が住宅資材卸、建材卸などで持ち直しているものの、小売が自動車関連、医薬品販売などで後退している。

図表 2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2014年		2015年				2016年			2016年 7~9月 (先行き)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	前回予想		
全体	-11	-16	-15	-11	-9	-8	-12	-14	-15	
100人未満	-15	-19	-20	-15	-14	-17	-13	-19	-15	
100人以上	-6	-13	-11	-6	-3	1	-11	-8	-16	
製造業	-15	-20	-22	-14	-17	-12	-18	-16	-20	
100人未満	-20	-26	-29	-15	-22	-18	-22	-16	-19	
100人以上	-9	-13	-15	-13	-12	-5	-14	-18	-22	
素材型	-6	-17	-27	-23	-23	-30	-27	-28	-17	
紙加工品等	-17	-9	-33	-8	-8	-25	-8	-33	-17	
化学・プラスチック・ゴム製品	-17	-31	-17	-17	-18	-36	0	-21	-8	
鉄鋼・非鉄金属	8	-14	-38	-38	-42	-42	-43	-42	-21	
金属製品	10	-17	-31	0	-33	-33	-42	-50	-8	
その他素材型	-13	-14	-18	-42	-15	-15	-38	0	-31	
加工組立型	-6	-14	-18	-6	-19	-3	-23	-12	-24	
一般機械器具	-24	-15	-16	-15	-11	-12	-6	-35	-24	
電気・情報通信機械器具	-10	-20	-33	-7	-18	-14	-33	-21	-25	
電子部品・デバイス	18	-8	-8	29	-25	-8	-50	15	-33	
輸送用機械	-36	-46	-31	-36	-50	8	-29	-8	-29	
精密機械	23	15	0	0	0	15	0	0	-9	
生活関連型	-45	-33	-22	-12	14	4	13	-8	-17	
飲・食料品	-40	-17	-18	21	36	17	42	8	8	
印刷・同関連業	-50	-50	-25	-50	-10	-8	-17	-25	-42	
その他製造業	-80	-50	-14	-14	-50	0	0	14	-25	
非製造業	-6	-10	-6	-6	3	-3	-3	-10	-8	
100人未満	-8	-8	-7	-15	-4	-15	2	-25	-8	
100人以上	-4	-11	-5	4	10	8	-7	3	-9	
一般建設	22	16	16	0	30	15	5	-10	-11	
住宅建設	-8	-8	-23	-33	-17	8	-8	-8	-8	
卸売	-29	-36	-22	-6	0	-31	12	0	-6	
小売	-19	-26	-21	-19	-4	-5	-22	-30	-28	
運輸・倉庫	-8	-17	8	8	20	8	-18	0	-18	
不動産	-17	0	9	8	0	-29	8	-14	-8	
その他非製造業	11	0	0	0	-12	11	0	0	14	

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業もマイナスに転化～

製造業では、素材型の鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型の電気機械器具、電子部品・デバイス、輸送用機械などがマイナスとなっている。非製造業は、住宅建設、小売がマイナスに転じている。先行きは、製造業では、素材型、加工組立型がプラスに転じる見通しとなっている。非製造業では、小売などでマイナス幅が縮小し、住宅建設、卸売でプラスに転じる見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 15年10～12月期	(前回調査) 16年1～3月期	(今回調査) 16年4～6月期	(先行き) 16年7～9月期
全体	11	1	-9	5
製造業	4	-7	-7	6
非製造業	20	14	-11	4
規模の小さい企業	4	-6	-10	1
規模の大きい企業	19	10	-7	9

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業もマイナスに転化～

製造業では、素材型の鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型の電気機械器具、電子部品・デバイス、輸送用機械などがマイナスとなっている。非製造業では、住宅建設、小売がマイナスに転じている。先行きは、製造業では、素材型の鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型がプラスに転じる見通しとなっている。非製造業では、住宅建設、小売などでプラスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 15年10～12月期	(前回調査) 16年1～3月期	(今回調査) 16年4～6月期	(先行き) 16年7～9月期
全体	5	1	-13	1
製造業	-2	-6	-17	2
非製造業	14	11	-8	0
規模の小さい企業	-2	-4	-16	-6
規模の大きい企業	13	7	-9	9

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～マイナスに転じる～

製造業では、電子部品・デバイス、輸送用機械などがマイナスに転じている。先行きは電子部品・デバイスでプラスに転じる見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 15年10～12月期	(前回調査) 16年1～3月期	(今回調査) 16年4～6月期	(先行き) 16年7～9月期
全体	-1	2	-6	4
製造業	-1	3	-8	5
非製造業	-2	2	0	2
規模の小さい企業	0	4	-11	-4
規模の大きい企業	-3	0	0	12

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が薄れる～

製造業は、素材型、加工組立型で僅かながら過剰となっている。非製造業は、運輸・倉庫など一部で不足感がみられるが、総じて不足感が薄れている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 15年10～12月期	(前回調査) 16年1～3月期	(今回調査) 16年4～6月期	(先行き) 16年7～9月期
全体	0	-6	0	0
製造業	3	-2	3	3
非製造業	-3	-11	-3	-5
規模の小さい企業	2	-7	5	3
規模の大きい企業	-1	-6	-5	-5

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強い～

製造業では生活関連型で不足感が薄れている。非製造業ではすべての業種で不足感がみられるなか、運輸・倉庫で不足感が強まる一方、一般建設で薄れている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 15年10～12月期	(前回調査) 16年1～3月期	(今回調査) 16年4～6月期	(先行き) 16年7～9月期
全体	-19	-24	-17	-17
製造業	-2	-9	-2	-3
非製造業	-43	-43	-36	-36
規模の小さい企業	-19	-22	-6	-7
規模の大きい企業	-19	-26	-29	-29

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～非製造業で若干緩和～

製造業は電気機械器具、電子部品・デバイスなどで厳しさがみられる。非製造業では苦しさは緩和されている状況にある。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 15年10～12月期	(前回調査) 16年1～3月期	(今回調査) 16年4～6月期	(先行き) 16年7～9月期
全体	7	7	7	2
製造業	8	4	2	3
非製造業	7	12	12	0
規模の小さい企業	-2	-2	-4	-9
規模の大きい企業	19	17	19	14

(以上)